

水谷 真悠 のライフプラン

将来なにになりたいか? **宇宙飛行士**

その理由 **宇宙の素晴らしさを知り、地球を守る手助けになりたいから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	10(小4)	学校の勉強や行事に一生懸命取り組む(高3まで)。英検2級合格。	英語レッスン代
2024年	11(小5)	STEM教育系の習い事を始める。(算数・理科を得意分野にする)	サマースクール代 英語レッスン代
2025年	12(小6)	日本以外の国を知りため、海外サマースクールに参加。英検準1級に合格。	サマースクール代 英語レッスン代
2026年	13(中1)	塾の勉強開始。部活で人間関係の大切さを学ぶ。(高3まで)	塾代、部活代
2027年	14(中2)	校外活動に参加。社会勉強をする(高3まで)。海外のサマースクールに参加。	校外活動参加代 サマースクール代
2028年	15(中3)	英検1級に合格する。	英語レッスン代
2029年	16(高1)	海外の大学に進学するための勉強を始める。TOEFLの勉強を始める。	塾代 英語レッスン代
2030年	17(高2)	上に同じ	上に同じ
2031年	18(高3)	上に同じ	上に同じ
2032年	19(大1)	海外の大学に入学。視野を広く経験を活かす(院2まで)。	海外渡航費、生活費、 大学授業料
2033年	20(大2)	専門分野を決める。ロシア語の勉強を始める。	ロシア語レッスン代
2034年	21(大3)	専門分野の勉強に力を入れる。開発途上国も含め多くの国を実際に訪れて、世界の現状を知る。	旅行代
2035年	22(大4)	専門分野の勉強に力を入れる。インターンを経験し、自分の実力を試す。	
2036年	23(院1)	さらに専門分野の研究を行う。	研究費用
2037年	24(院2)	上に同じ	就労活動費
2038年	25	JAXAに実務経験を積む	
2048年	35	宇宙飛行士として月探査を行い、みんなに地球がこんなに素晴らしいことを伝える。	

### 夢は「宇宙飛行士」

筑波大学附属小学校 四年 水谷 真悠

習い事の帰り道、夜空にきれいな月が見えた日は、一日のごほうびをもらった気分になる。幼稚園の頃から、天体望遠鏡で月や惑星を見ることが好きだった。近所のプラネタリウムへ行ったり、星空観測会にも参加した。そんな私を見て、お母さんが宇宙飛行士の山崎直子さんの講演会に連れて行ってくれた。「どうしたら宇宙飛行士になれますか。」と、一番に手を挙げて質問したことは今でも覚えている。私にとって宇宙飛行士になるという夢は、これからの人生をがんばる原動力だ。

宇宙飛行士の仕事は、船外活動を行うだけでなく、ISSに滞在して宇宙環境を利用した実験や、ISSや日本実験棟「きぼう」のシステム管理、修理・保全等の運用を行うことだ。実験は専門性が高く、難病に効く薬の開発や病気の原因の解明につながることもある。地上の私たちの生活をより良くす

ることに関係して、宇宙飛行士になるためには、自分の得意とする専門的な知識や技術を身につける必要があると思った。また、多国籍チームで作業を行うので、英語やロシア語の語学力はもちろん、異文化を理解して尊重すること、そして、日本文化を伝えるコミュニケーション能力も必要になると思っている。異常時には、仲間と協力しながら問題を解決し、冷静に判断して行動できる力も必要だ。

今の私にできることは、人の話や世界のニュースに興味を持ち、自分がどの分野で世の中の役に立てるのかを考えること。そして、その勉強ができる海外の大学で自分と同じ志を持った様々な国の人たちと学び、多くの知識と経験を積みたかと思っている。卒業後は、JAXAか自分の専門分野を生かせる機関で実務経験を積みながら宇宙飛行士の募集があった時に、自信を持って応募できるように努力を続けたい。これからの月探査をはじめとする宇宙開発を担い、危機的状況の地球環境を守るのは私たちだ。地球も時間もお金も無限にはない。一分一秒を大切にしたいと思う。